



利用者の声

私と夫は、もともと市外の出身者です。須賀川市に転入してすぐに、私は2番目の子を出産するため、故郷である長野県に帰り、出産を経て、令和2年3月頃に戻りました。その頃は、全国的に新型コロナウイルス感染症がまん延し始めた頃で、2人の子どもと、不安な気持ちを抱えながら家で過ごしていました。

上の子は遊びたい盛りで、誰かと遊びたいという欲求が日に日に強まっている様子もあり、同じくらいの子どもたちがいて親子で安心して過ごせるような場所を探していました。インターネットでこち

3歳と1歳のお子さんを子育て中
白川 希 さん

私たちが親子が安心して楽しく過ごせる場所

らの施設があることを知り、思い切って訪問しました。



家族のようなスタッフとの出会い

センターを利用して感じたのは、スタッフの皆さんが家族のように接してくれることです。どのスタッフも、私の話を良く聞いてくれるので、身近に相談できる相手がない私にとっては、本当にありがたい存在です。

何よりも子どもたちが、スタッフに慣れて楽しそうに喜んで遊んでいる姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。一緒に子どもたちの成長を見守ってくれるスタッフの存在は、なくてはならないと感じています。

一期一会の出会いに



スタッフの声

こどもセンターは、子育てをする人の交流の場となり、また、お子さんの健やかな成長を支える場になることを目指しています。

私たちにあって、利用者の子育てを支援すること、お子さんの成長を見守ることは大きな喜びです。

子育て中は大変なこともたくさんあると思いますが、それらも含めて、子育てを楽しんでいけるよう、スタッフ一同支えていきます。これからも、一つ一つの出会い、ふれあいを大切にしながら、思いを込めた対応をしていきます。ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

こどもセンターの子育て支援

あなたの心に寄り添える場所に

こどもセンター(tette内) ☎(76)6687

市こどもセンターは、子育て支援センター、わいわいパーク(屋内遊び場)、預かりルーム(一時保育の3つの機能を併せ持つ施設として、平成31年1月にtetteの開設とともに誕生しました。コロナ禍という特殊な状況の中、これまで以上に、子育てをする人と子どもたちの心に寄り添える場所となることを目指しています。今月号では、センターの利用者やスタッフの話を伺いながら「こどもセンターの今」を紹介します。

みんなで子育てをする街に

須賀川市子育てサークル連絡協議会[kurutto]は「須賀川の子育てがくるとつながるように」そんな思いから、子育てに関する5つのサークルが連携して発足しました。

私たちは、それぞれのサークルの得意分野を生かしながら、こどもセンターで子育て支援講座を企画し、運営しています。

私も市外からの転入者で、市内の子育てサークルに支えられながら育児をした経験があります。自分の経験も生かしながら、講座に参加した保護者の皆さんが少しでもほっとできる場を、これからも仲間とともに提供していきます。



須賀川市子育てサークル連絡協議会[kurutto] 代表 松下あすかさん

子育て支援センター 預かりルーム

子育ての相談を中心に、子育てに関する講座や親子イベントを行っています。預かりルームは、保護者のリフレッシュや通院などのため、乳幼児の一時預かり施設として、事前登録の上、有料でご利用いただけます。



わいわいパーク

年齢に応じたエリアで、自由に遊ぶことができます。また、保護者同士、子ども同士の交流の場にもなっています。



パパも楽しんでいます



遊びに来てね!

